

## 第4回市民自治推進委員会議事概要

1 日 時 令和5年2月8日(水) 14:00～15:30

2 会 場 鳥取市役所本庁舎 6階 第5会議室

3 出席者

(1) 委 員 中川委員長、鈴木委員、神部委員、佐々木委員、佐藤委員、  
下澤委員、倉持委員、松本委員(順不同) 8名出席

(2) 鳥取市 協働推進課 北村課長、宮谷課長補佐、大塚主事

4 議 事

(1) 報告事項

①参画と協働のまちづくりフォーラム(啓発事業)について【資料1】  
(事務局)

【資料1説明】

②地区公民館の幅広い活用に向けた検討状況について【資料2】  
(事務局)

【資料2説明】

③公民連携デスクの開設について【資料3】  
(事務局)

【資料3説明】

(2) 協議事項

①市民自治推進委員会意見書の作成について【資料4】  
(事務局)

【資料4説明】

(委員長)

資料のとおり、任期2年の取りまとめとして意見書を市に提出するが、意見書について何か気になった点等、ご意見いただきたい。

(委員)

自治会加入率の問題について、この委員会でも引き続き議論していかないと、危機的な状況になるのではないかと心配している。

(事務局)

自治会加入率の件については、市でも議論している。加入率を上げていく必要があるし、自治会を経由しなくても市のサービスを提供していかないといけないという課題もある。なかなか答えを示すことはできないが、この件について問題意識を持って取り組むことを市の幹部とも共有している。

(委員)

持続的な地域共生社会を目指す必要がある。困っている人を救う社会構造にしていかないといけない。そこに住む人が手をつないで協力しないといけないが、なかなか難しい。そこにはまちづくりの力が必要だと思うが、住民だけだと難しい部分もある。地域を支える部分について、市の関わりが大事だと思うので、良い施策を打っていただきたい。

(委員)

町内会に入っていない人の意見を拾い上げて、加入しない原因を突き止め、一つずつ課題を解決することにより、加入しやすい環境をつくっていくことが大事。また、自治会の役割の重要性を理解していない方がおられるので、そこについては、市が分かりやすく広報していくことが大事。

(委員長)

担い手になれそうな方は、働き手なので時間がなく、断れるのであれば、断りたい人が多い。そのため、類似の行事や機能等を集約したり、見直しを図ったりして、することを減らしていくしかない。何が必要なのかを話していくことから始め、精査していくことが大事。今の環境のままだと、若い人は町内会活動をしたくない。

(委員)

町内会の仕事が回ってくるので入りたくないという人が多い。意見書にも載っているが、行政からの依頼も負担になっているという声も聞く。自分たちの生活で手一杯で、町内会のことにかかわる時間や精神的余裕もない。時代が変わって家族構成も変化しているため、現状に合った見直しを図り、仕組みを変えていくことも必要だと感じる。

(委員長)

意見書について、その他足りていない部分等あれば、ご意見いただきたい。

(委員)

人材を育成して、引っ張ってくださる人がいないと、意見書に載っているような目標があっても、不可能なことだと思う。いくら大きな希望があったとしても、それを実際に実行できる人材を育成することが足りていない部分だと思う。人材育成について、3ページに載っているが、どのような形で人材育成をするのか、もう少し具体例があると分かりやすいのではないか。

(委員長)

ご意見いただいたように、人材育成にかかわる教育的な観点も踏まえながら、意見書の完成に向けて、私と事務局で調整させていただきたいと考えている。

(3) その他

特になし